

恵那市まちづくりアンケート 調査結果報告書（概要版）

令和6年10月

恵 那 市

目 次

I	調査の概要	p2
1.	調査の目的	p2
2.	調査の対象	p2
3.	調査の方法	p2
4.	調査の期間	p2
5.	回収結果	p2
6.	標本誤差	p3
7.	調査票の見方	p3
II	調査結果	p4
1.	まちづくり小中学生アンケート	p4
2.	まちづくり高校生アンケート	p9
3.	まちづくり市民アンケート	p15

調査の概要

1. 調査の目的

第3次恵那市総合計画の策定にあたり、小中学生を含む市民の声を広く計画に反映するため。

2. 調査の対象

小中学生	市内の小中学校に通う小学6年生および中学3年生
高校生	市内の高校に通う高校3年生 (恵那高、恵那農業高、恵那南高、恵那特別支援学校 高等部)
市民	18歳以上の市民 2,000人(無作為抽出)

3. 調査の方法

小中学生	学校を通して調査票を配布、Webフォームによる回答
高校生	学校を通して調査票を配布、Webフォームまたは紙調査票による回答
市民	郵送による配布、Webフォームまたは紙調査票による回答

4. 調査の期間

小中学生	令和6年9月6日～9月20日
高校生	令和6年9月6日～9月20日
市民	令和6年8月19日～9月6日 ※ただし、9月20日までに返送されたものまでを集計に含む。

5. 回収結果

	対象者数	有効回収集	有効回収率
小中学生	816人	656件	80.4%
高校生	361人	301件	83.4%
市民	2,000人	891件	44.6%

6. 標本誤差

本調査は、対象となる母集団の中から選ばれた一部の人（標本）について調査を行う「標本調査」です。標本調査では、標本から母集団における数値を推定する際に誤差がともないます。調査で生じた標本誤差（b）の値は、母集団（N）、比率算出の基数（n）、および回答の比率（P）によって異なります。

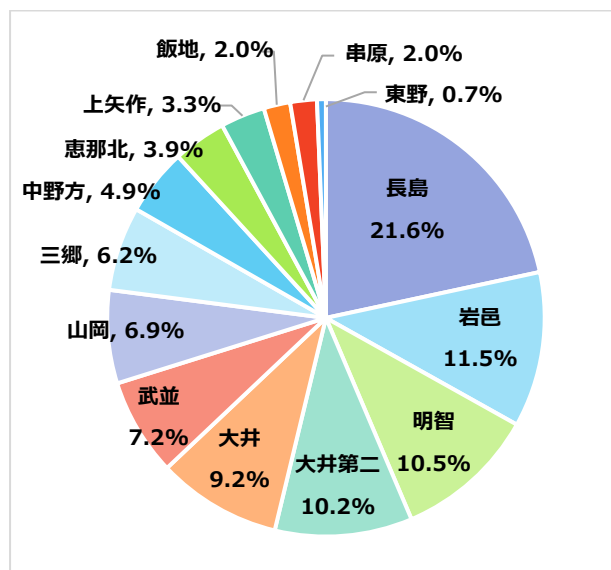
$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

7. 報告書の見方

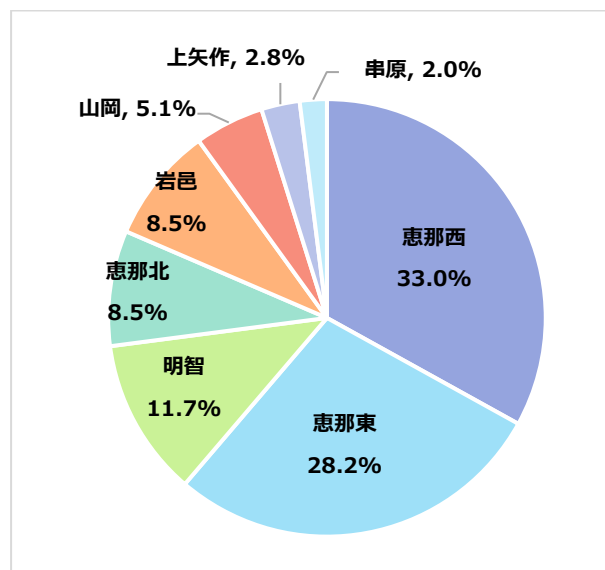
- ・ 回答は、各設問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100%を超えます。
- ・ 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して 0.1%に満たない場合は、表やグラフには「0.0」と表記しています。

1. まちづくり小中学生アンケート

問1 通学先（小学生）

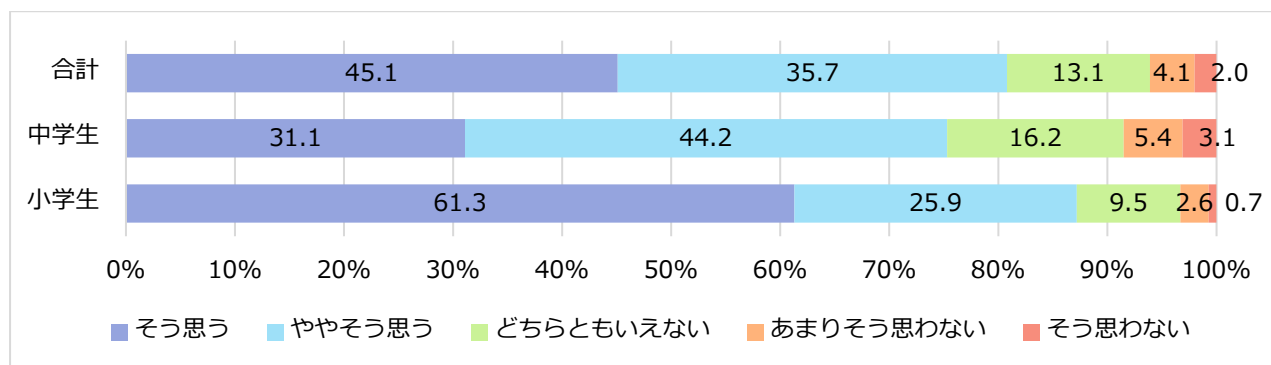


通学先（中学生）

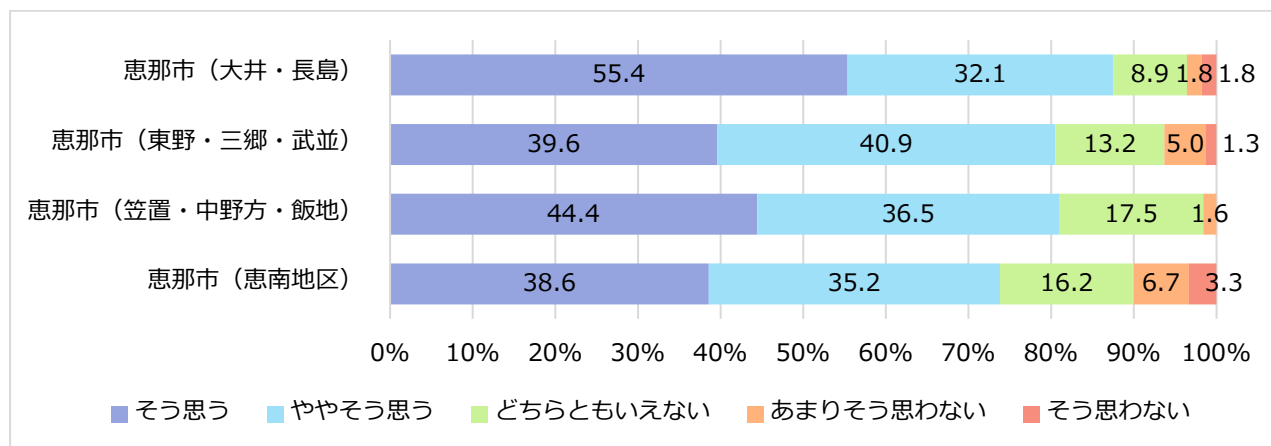


問2 あなたは、恵那市は住みやすいまちだと思いますか？

【年齢別】



【居住地別】

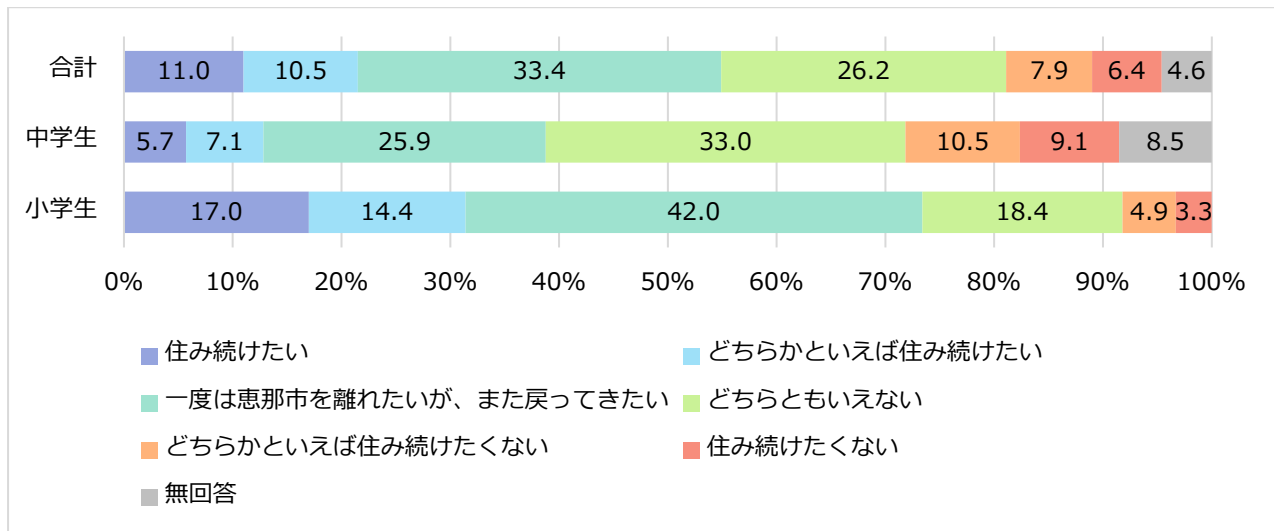


・「そう思う」または「ややそう思う」の割合は合計で 80.8%でした。

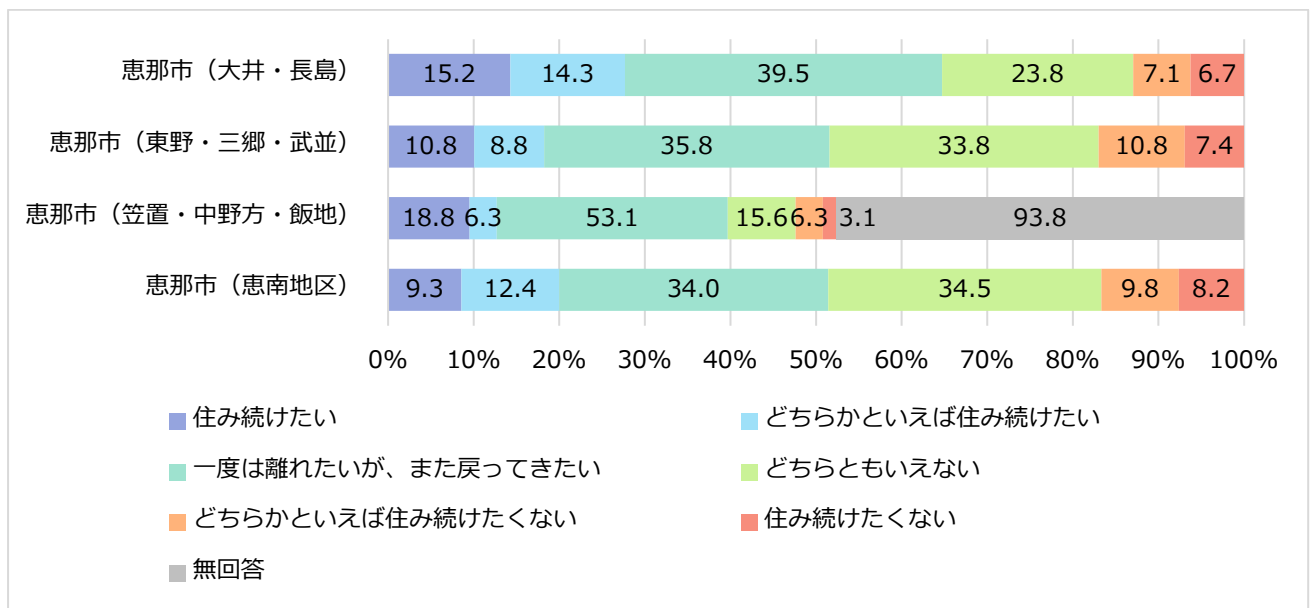
特に、小学生では 87.2%と 9 割近い人が住みやすいまちだと思っていることがわかります。

問3 あなたは、大人になってからも恵那市に住み続けたいですか？

【年齢別】

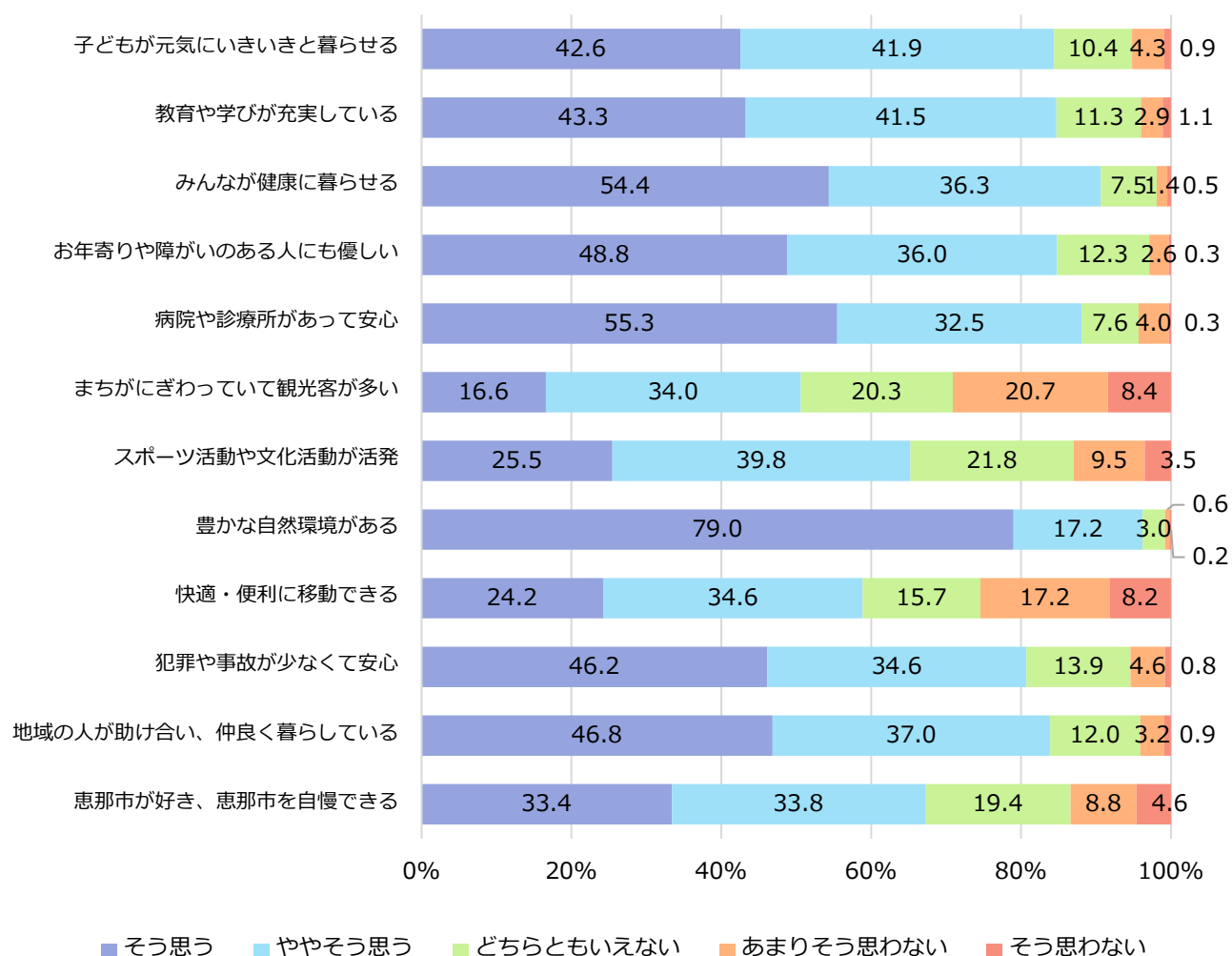


【居住地別】



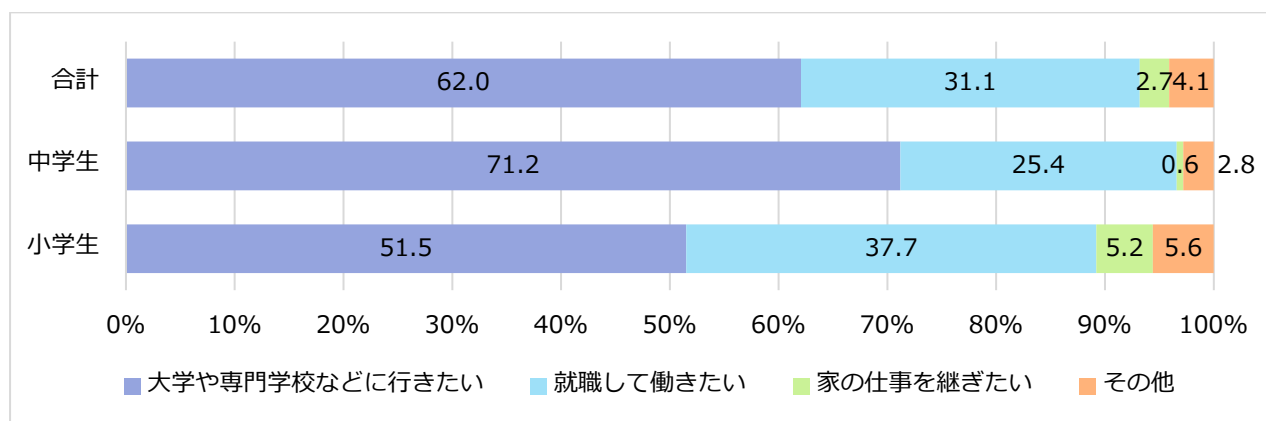
・「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「一度は離れたいが、また戻ってきたい」の割合は 54.9%と半数を超えました。年齢別で見ると、小学生では、73.4%であったのが、中学生になると 38.7%と大幅に低下しています。

問4 あなたは、今の恵那市についてどう思いますか？



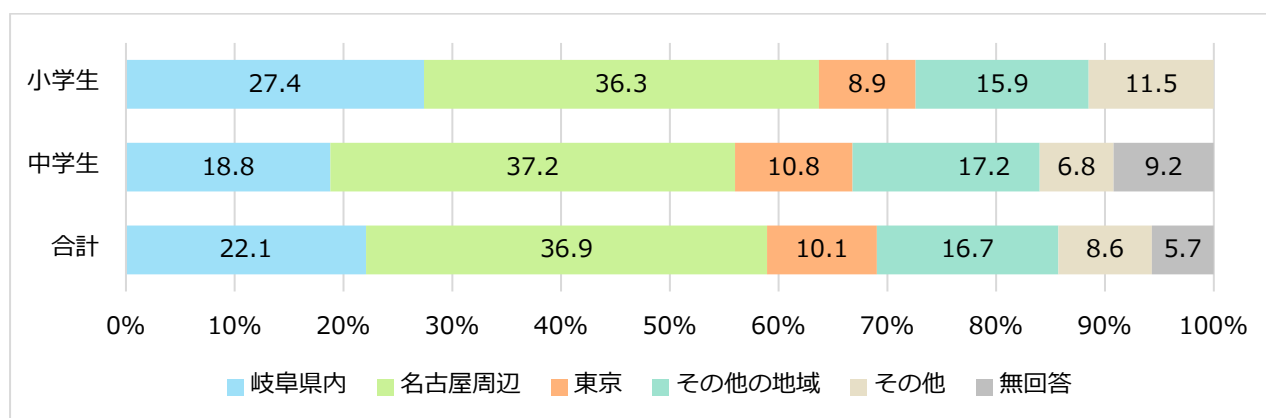
・「そう思う」または「ややそう思う」の割合が最も高いのは「豊かな自然環境がある」で96.2%でした。次いで、「みんなが健康に暮らせる」(90.7%)、「病院や診療所があって安心」(87.8%)、「教育や学びが充実している」(84.8%)と続いています。

問5 あなたは、高校を卒業したらどうしたいですか？



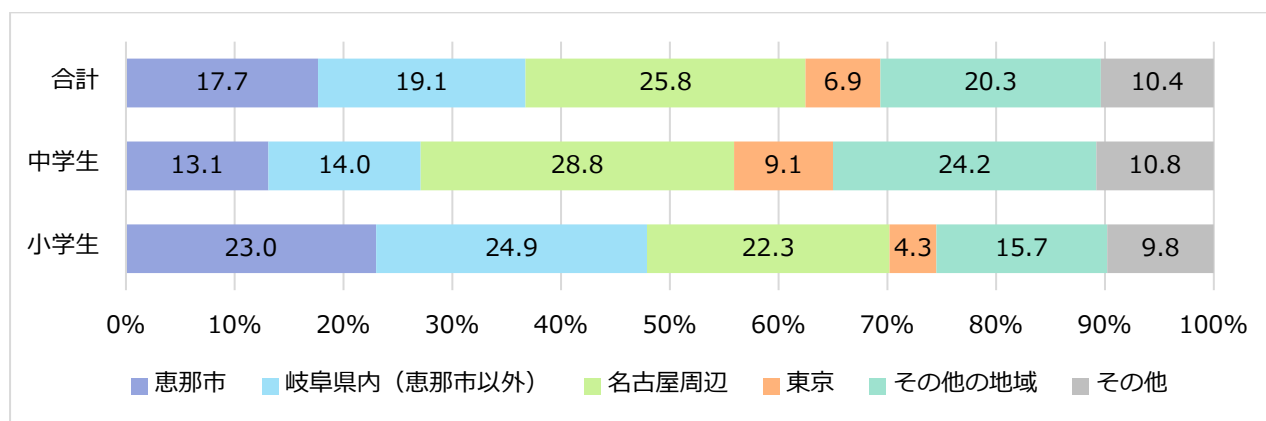
・「大学や専門学校などに行きたい」の割合が最も高く、62.0%でした。次いで、「就職して働きたい」（31.1%）、「家の仕事を継ぎたい」（2.7%）と続いています。

問6 あなたは、進学先の地域についてどう考えていますか？ ※進学希望者にのみ質問



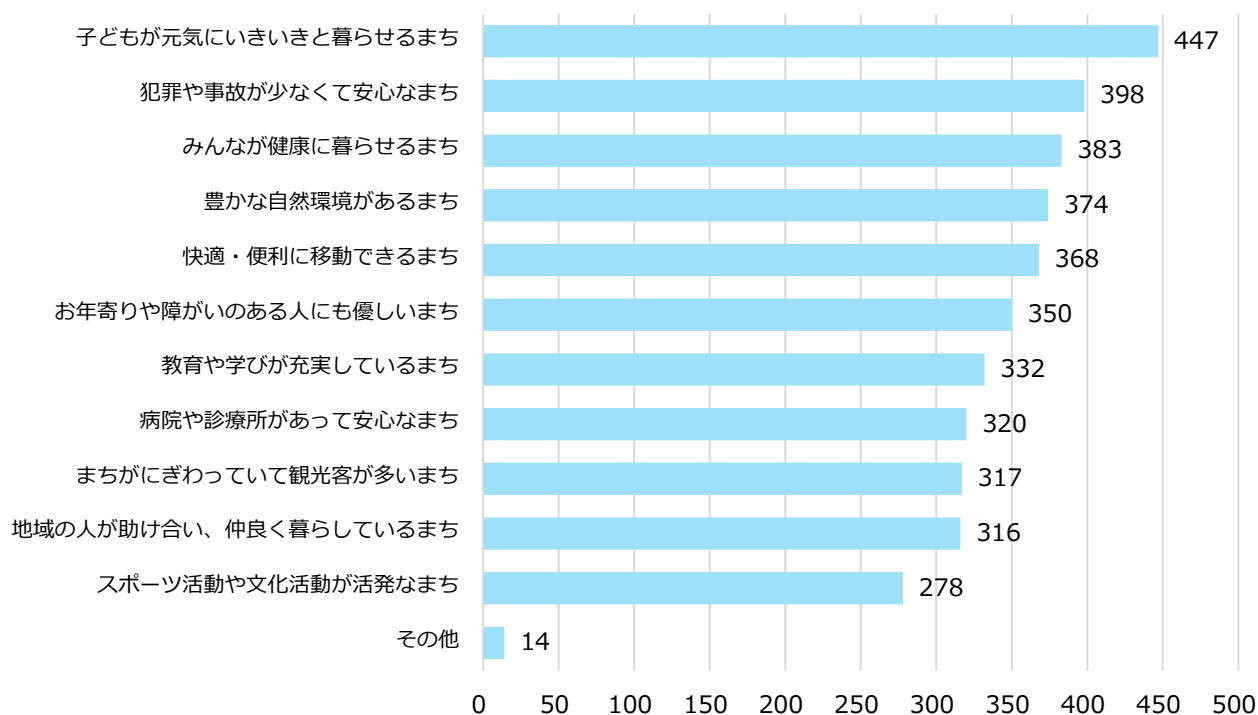
・「名古屋周辺」の割合が最も高く、34.9%でした。次いで、「岐阜県内」（22.1%）、「その他の地域」（16.7%）と続いています。

問7 あなたは、将来、働く場所について、どう考えていますか？



・「名古屋周辺」の割合が最も高く、25.8%でした。次いで、「岐阜県内（恵那市以外）」（19.1%）、「恵那市」（17.7%）と続いています。

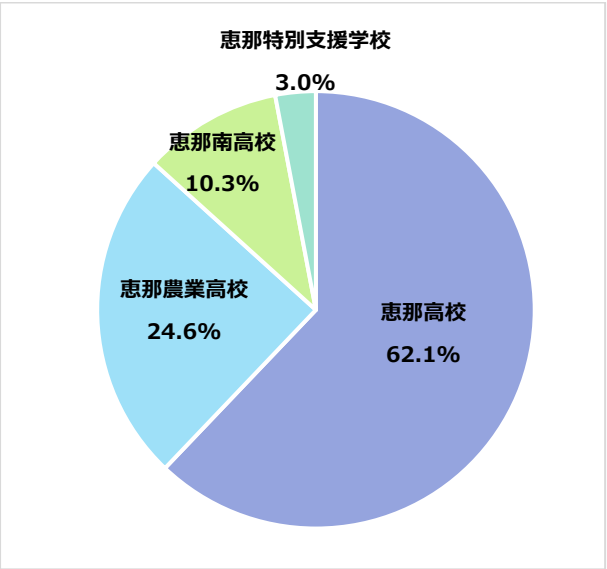
問8 あなたは、20年後の恵那市がどんなまちになってほしいと思いますか？



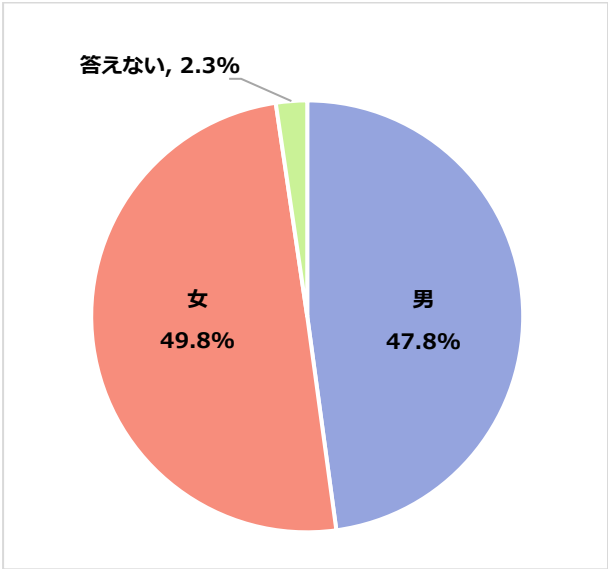
・「子どもが元気にいきいきと暮らせるまち」の割合が最も高く、447件でした。次いで、「犯罪や事故が少なくて安心なまち」（398件）、「みんなが健康に暮らせるまち」（383件）、「豊かな自然環境があるまち」（374件）と続いています。

2. まちづくり高校生アンケート

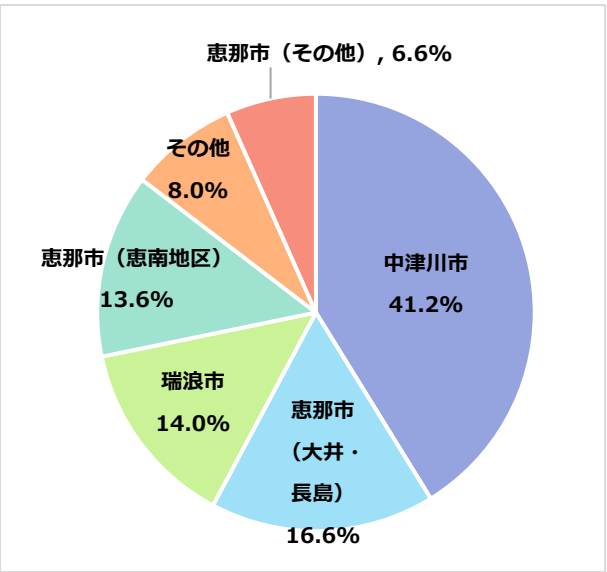
問 1 通学先



問 2 性別

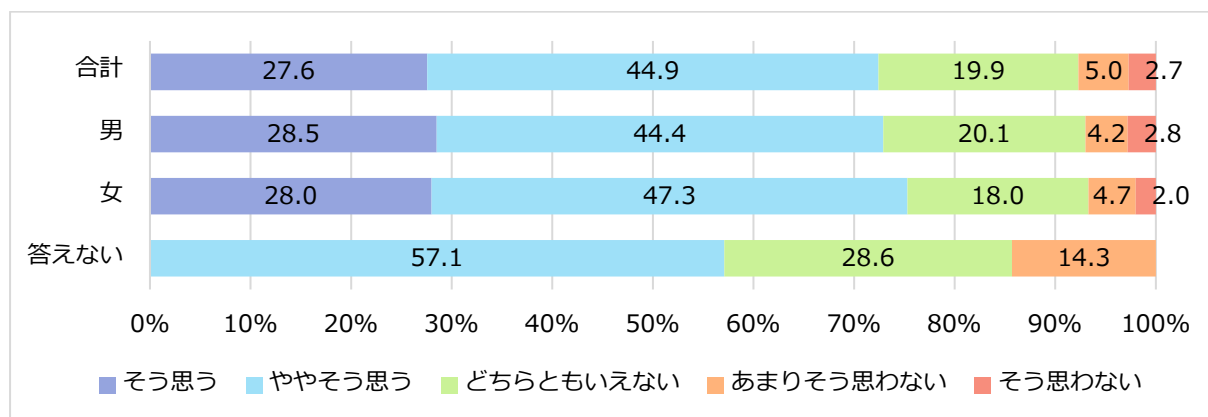


問 3 居住地

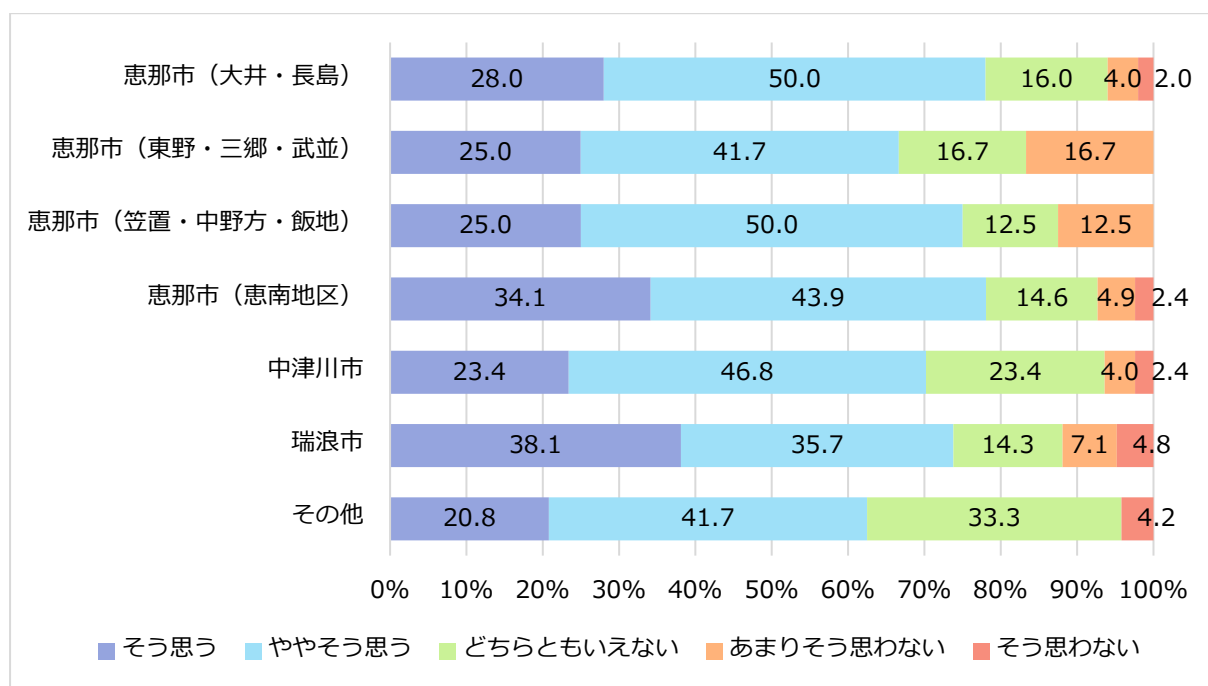


問4 あなたは、恵那市は住みやすいまちだと思いますか？

【性別】



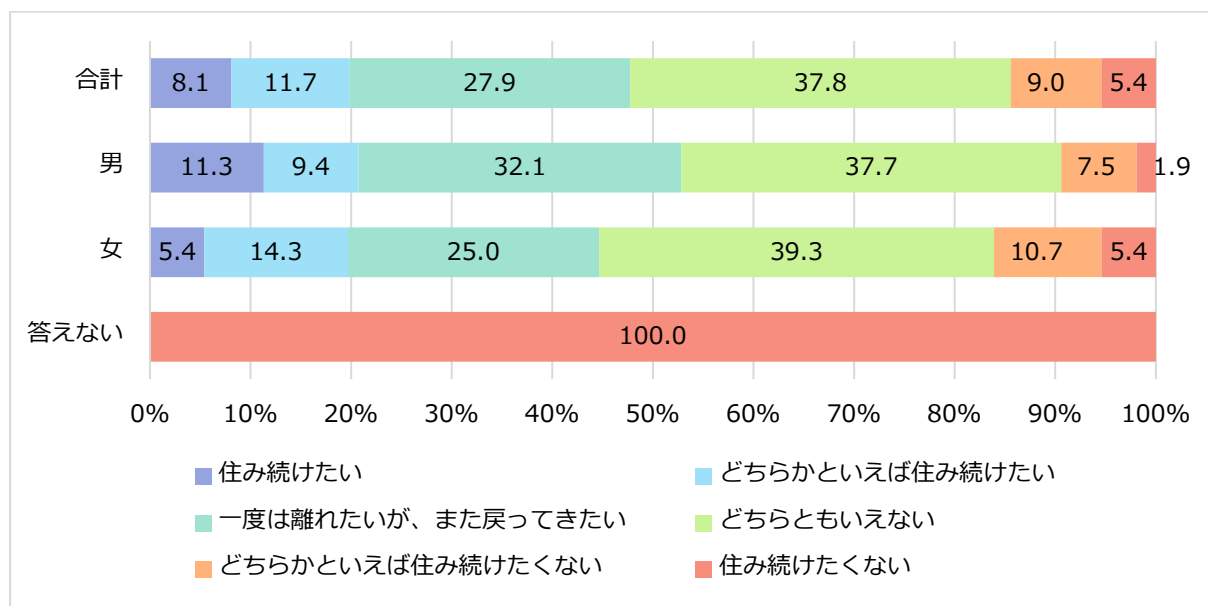
【居住地別】



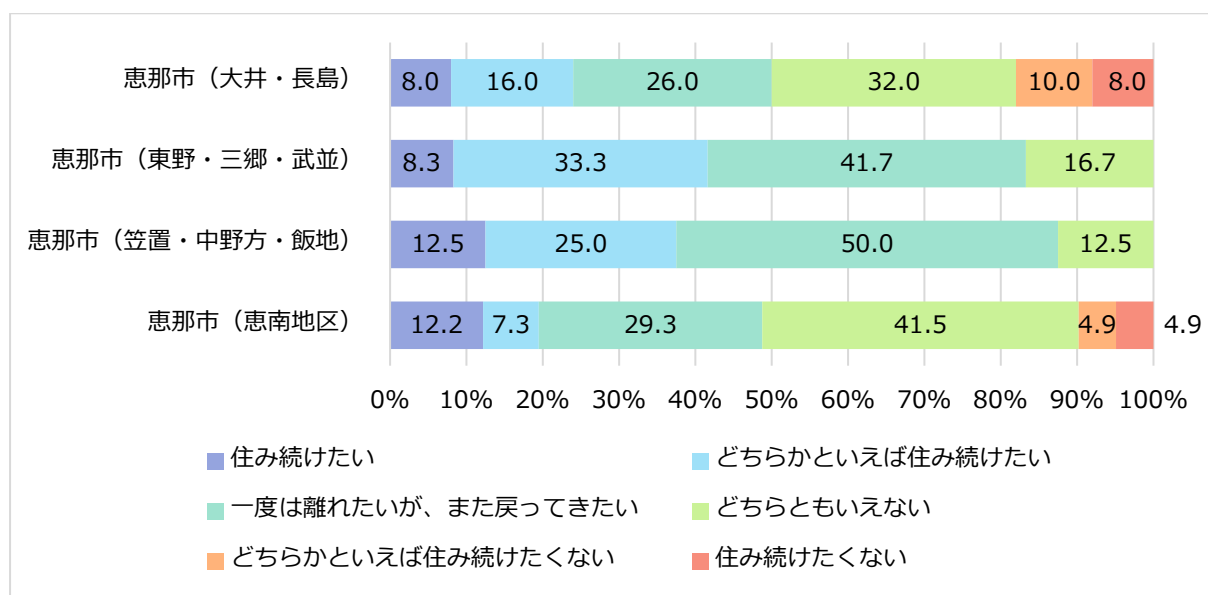
- ・「そう思う」または「ややそう思う」の割合は72.5%でした。小学生（87.2%）、中学生（75.3%）と比べるとやや低下するものの、7割以上の人々が恵那市は住みやすいまちだと思っていることがわかります。
- ・市外在住の高校生でも、「そう思う」または「ややそう思う」の割合は、中津川市（70.2%）、瑞浪市（73.8%）と7割以上となりました。

問5 あなたは、大人になってからも恵那市に住み続けたいですか？ ※恵那市在住者にのみ質問

【性別】

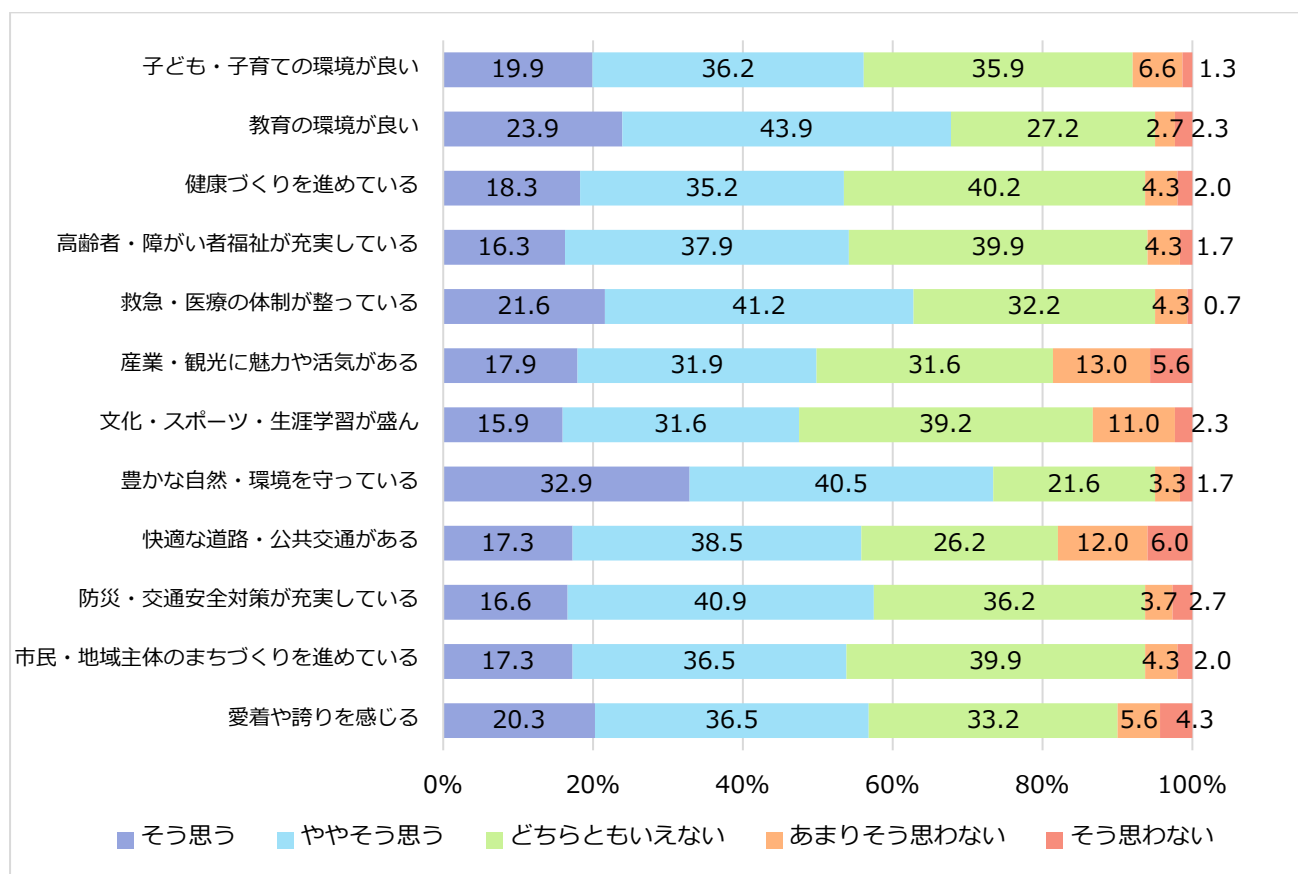


【居住地別】

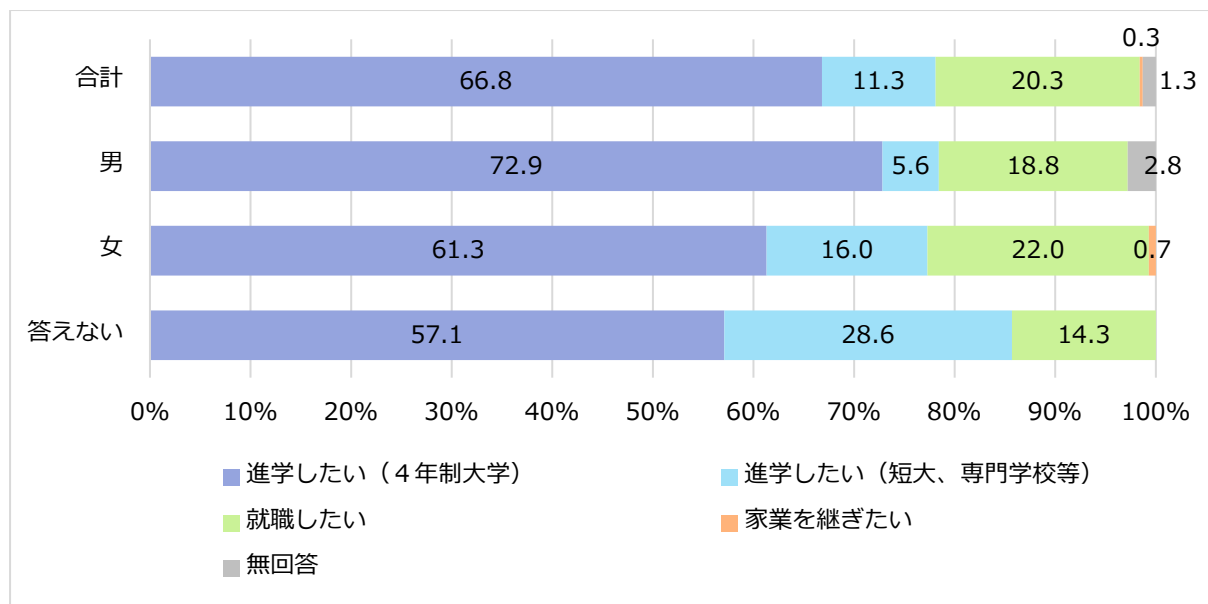


・「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」、「一度は離れたたいが、また戻ってきたい」の割合は47.7%でした。小学生（73.4%）と比べると低下するものの、中学生（38.7%）と比べると、高校生のほうが高くなっていることがわかります。

問6 あなたは、今の恵那市についてどう思いますか？

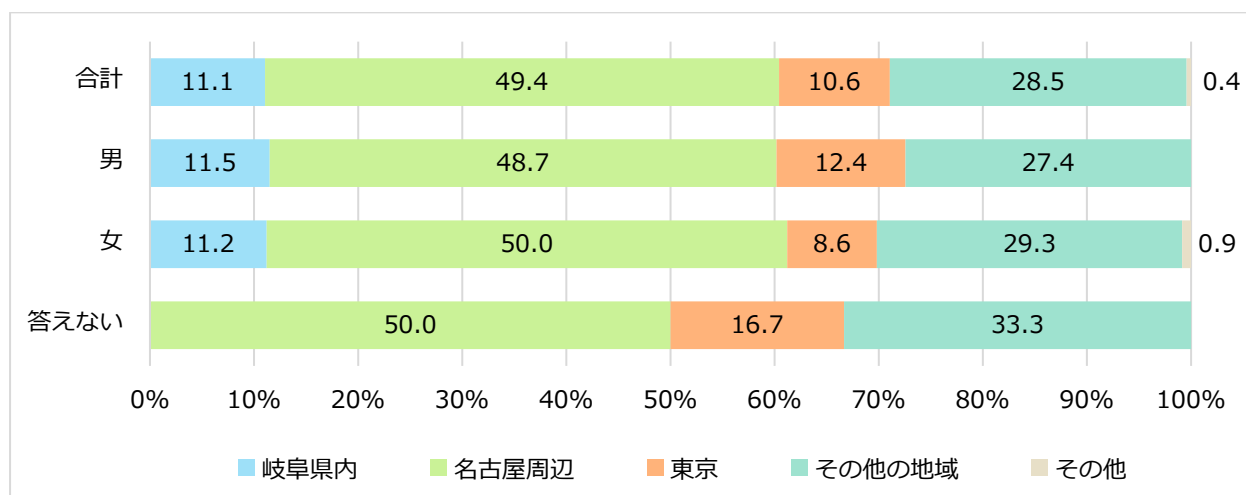


問7 あなたは、卒業後の進路についてどう考えていますか？



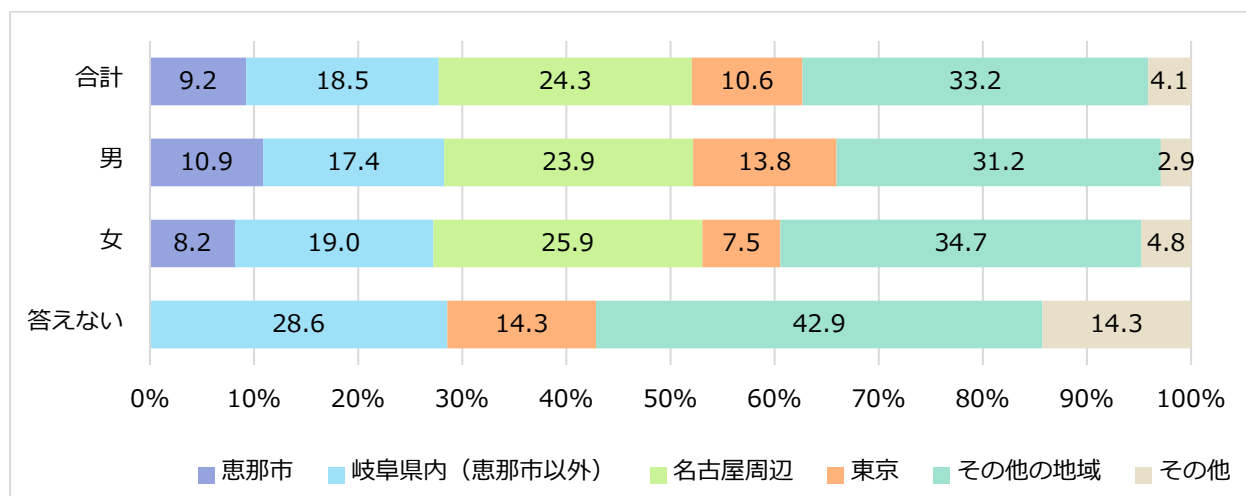
・「進学したい（4年制大学）」の割合が最も高く、66.8%でした。次いで、「就職したい」（20.3%）、「進学したい（短大、専門学校等）」（11.3%）と続いています。

問8 あなたは、進学先の地域についてどう考えていますか？ ※進学希望者にのみ質問



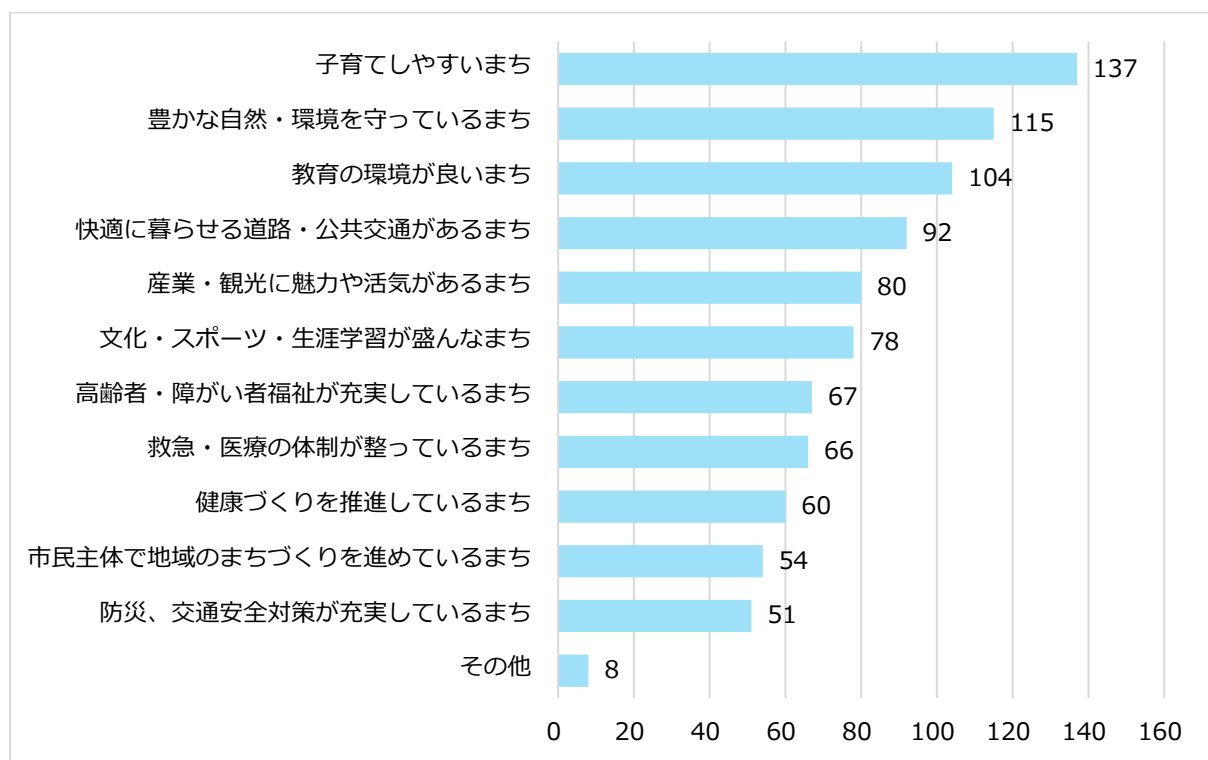
・「名古屋周辺」の割合が最も高く、49.9%でした。次いで、「その他の地域」(28.5%)、「岐阜県内」(11.1%)と続いています。

問9 あなたは、将来、働く場所についてどう考えていますか？



・「その他の地域」以外では、「名古屋周辺」の割合が最も高く、24.3%でした。次いで、「岐阜県内」(18.5%)、「東京」(10.6%)と続いています。「恵那市」は9.2%でした。

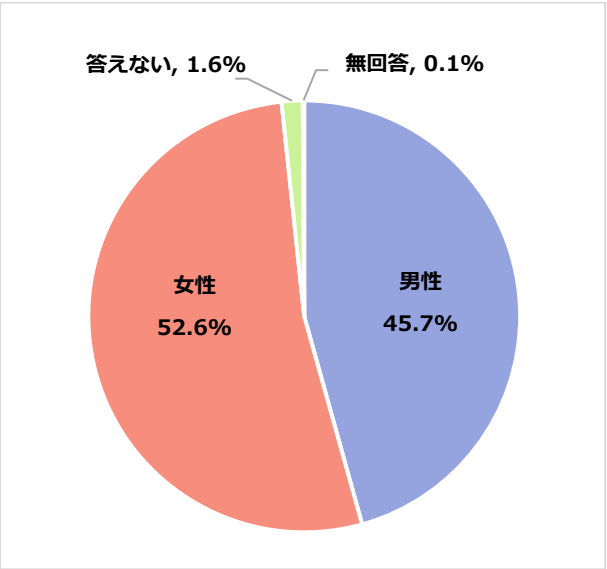
問 10 あなたは、20 年後の恵那市がどんなまちになってほしいと思いますか？



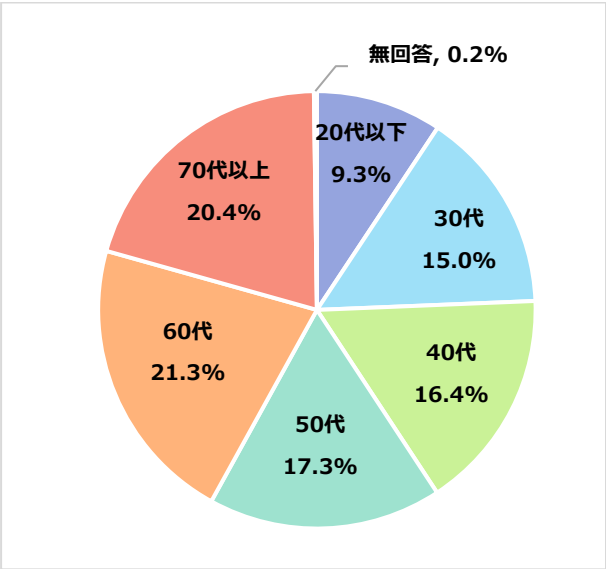
・「子育てしやすいまち」の割合が最も高く、137 件でした。次いで、「豊かな自然・環境を守っているまち」（115 件）、「教育の環境が良いまち」（104 件）、「快適に暮らせる道路・公共交通があるまち」（92 件）と続いています。

3. まちづくり市民アンケート

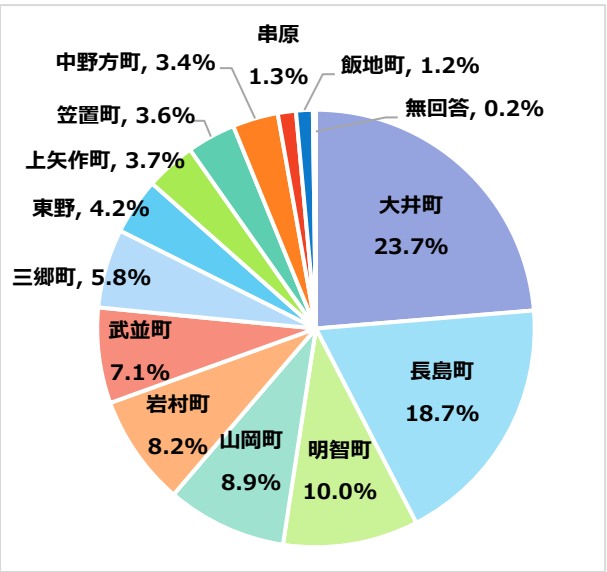
問1 性別



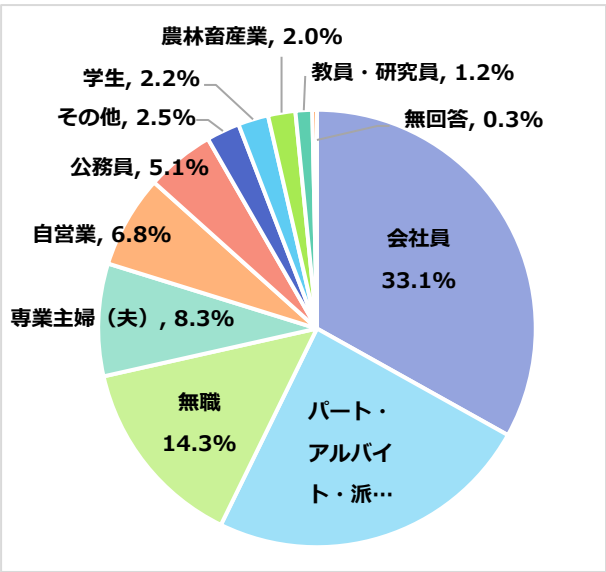
問2 年齢



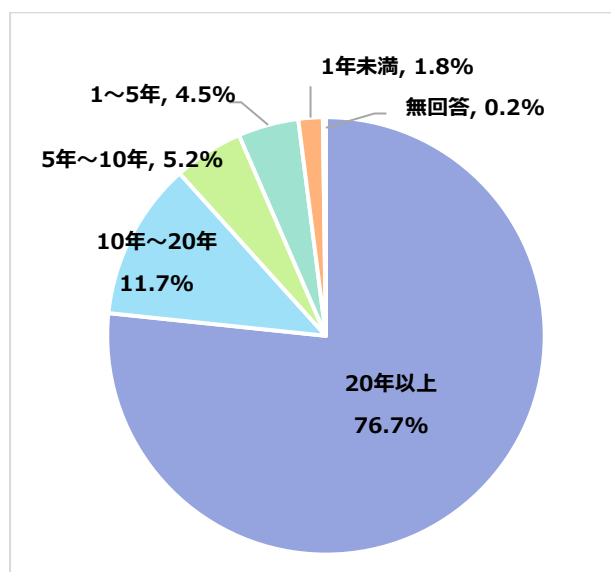
問3 居住地



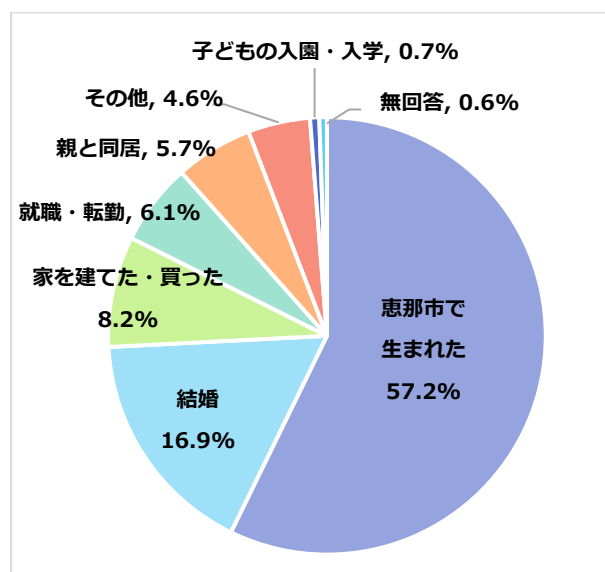
問4 職業



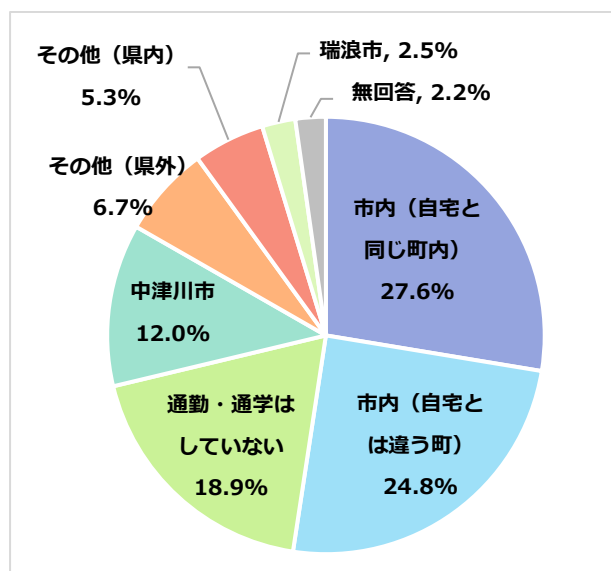
問5 恵那市には何年住んでいますか？



問6 恵那市に住んだきっかけは何ですか？

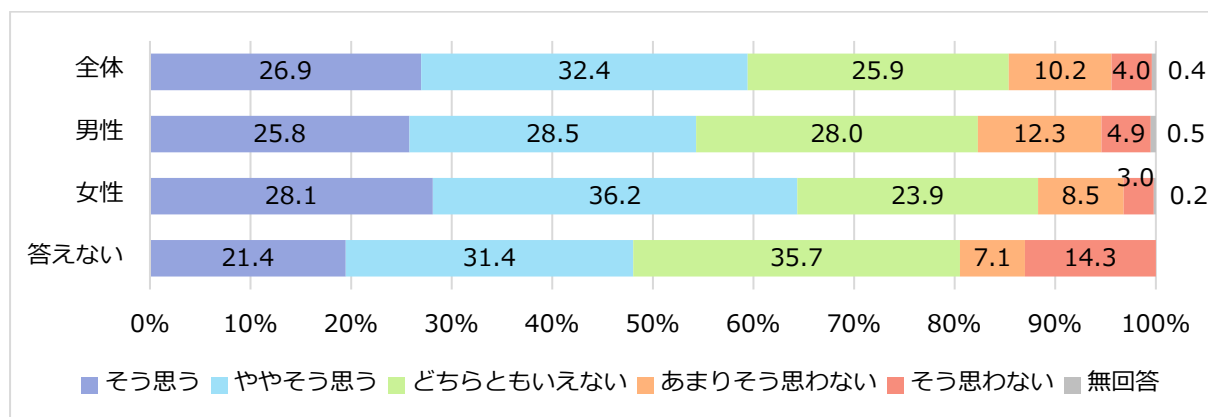


問7 通勤・通学先



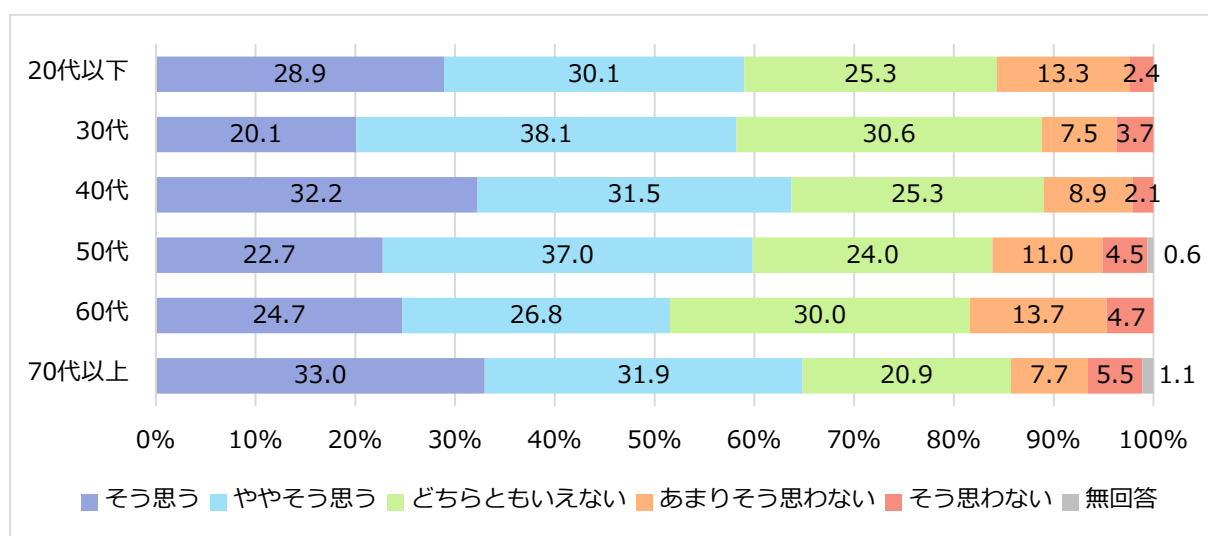
問8 あなたは、恵那市は住みやすいまちだと思いますか？

【性別】



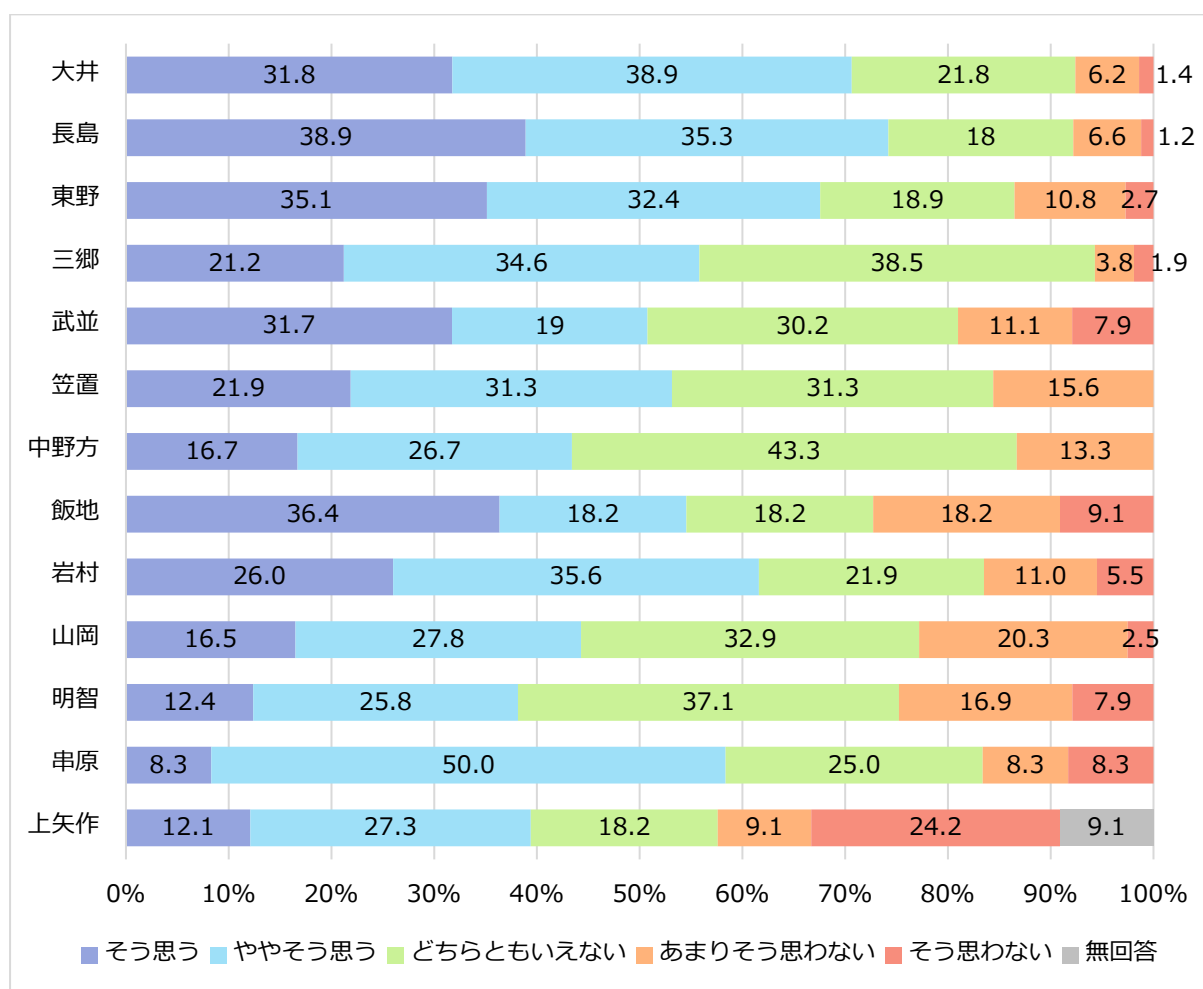
- ・全体では、「そう思う」または「ややそう思う」の割合が最も高く、合計で 59.3%でした。
- 一方、「そう思わない」または「あまりそう思わない」の割合は、合計で 14.2%でした。

【年齢別】



- ・「そう思う」または「ややそう思う」の合計の割合は、小学生（87.2%）、中学生（75.3%）、高校生（72.5%）と比べると低下するものの、40代では 63.7%、70代では 64.9%と、特定の年代では恵那市を住みやすいと感じている人の割合が高くなっています。

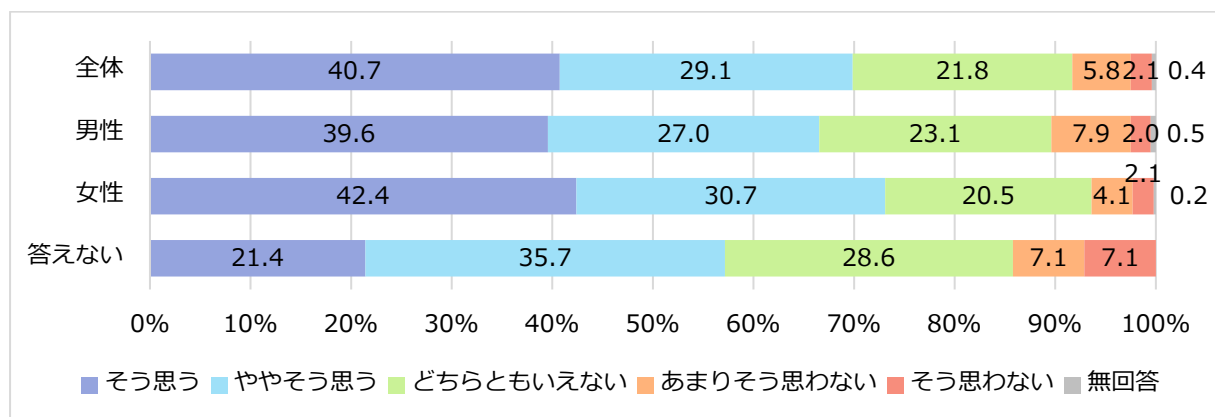
【居住地別】



- ・特に、「長島」(74.2%)、「大井」(70.7%)、「東野」(67.5%)といった市街地周辺の地域と、「岩村」(61.6%)では恵那市を住みやすいと感じている人の割合が高くなっています。
- ・一方、「上矢作」(33.3%)、「飯地」(27.3%)、「明智」(24.8%)では、「そう思わない」、「あまりそう思わない」の割合が高くなっています。

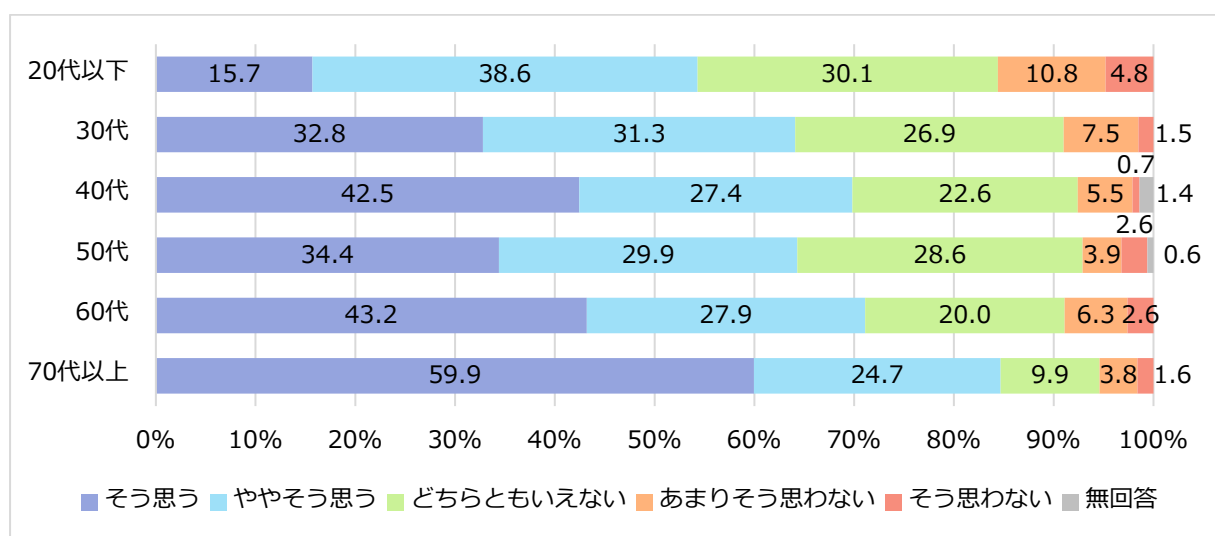
問9 あなたは、これからも恵那市に住み続けたいですか？

【性別】



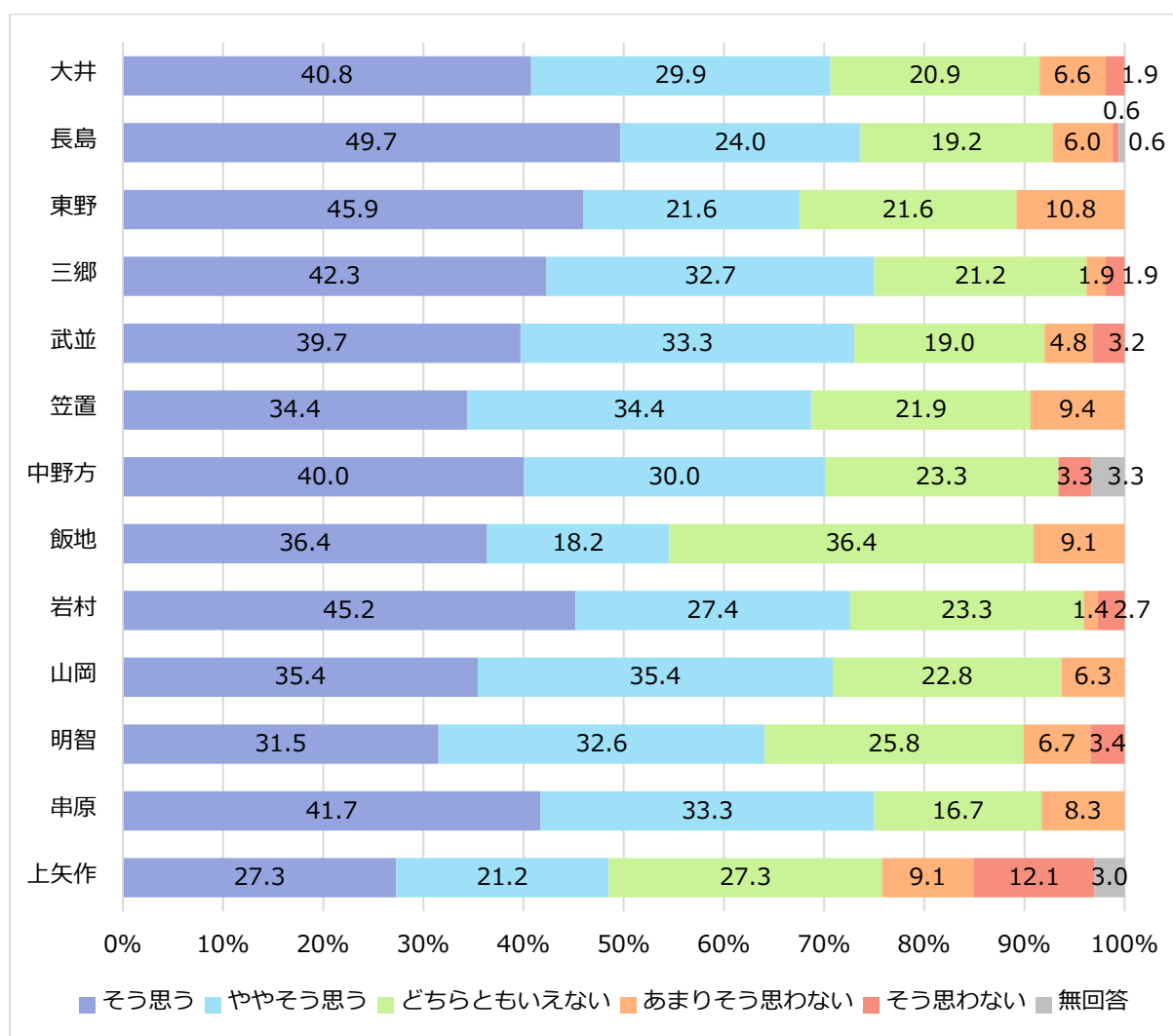
- ・全体では、「そう思う」または「ややそう思う」の割合が最も高く、合計で 69.8%でした。
- 一方、「そう思わない」または「あまりそう思わない」の割合は、合計で 7.9%でした。

【年齢別】



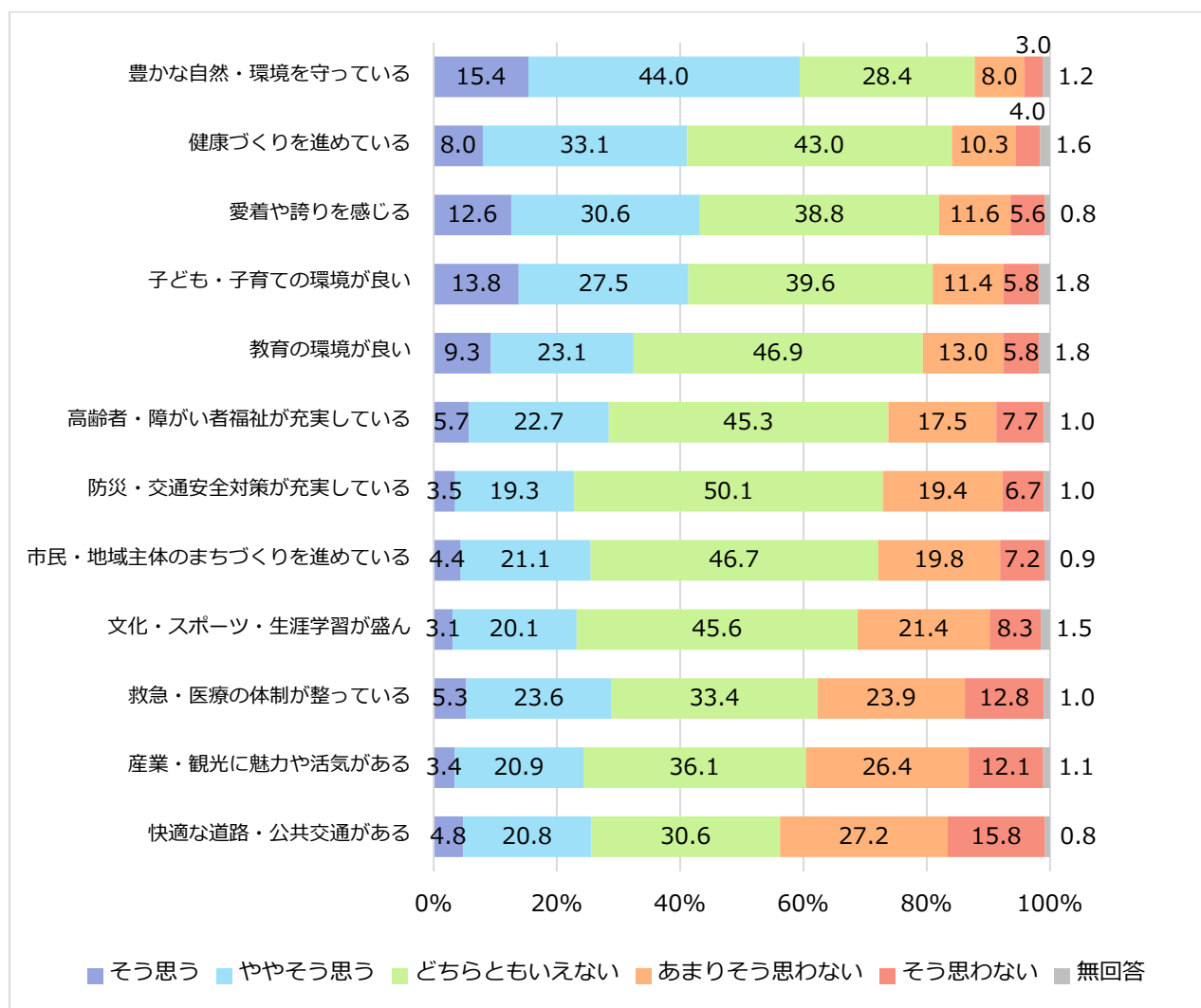
- ・「そう思う」または「ややそう思う」の割合は、年齢にしたがって高くなる傾向にあり、特に、70代以上では、84.6%となりました。

【居住地別】



- ・居住地による大きな差異は見られませんでした。特に「上矢作」では、「そう思う」または「ややそう思う」の割合が低く、48.5%と半数を下回りました。

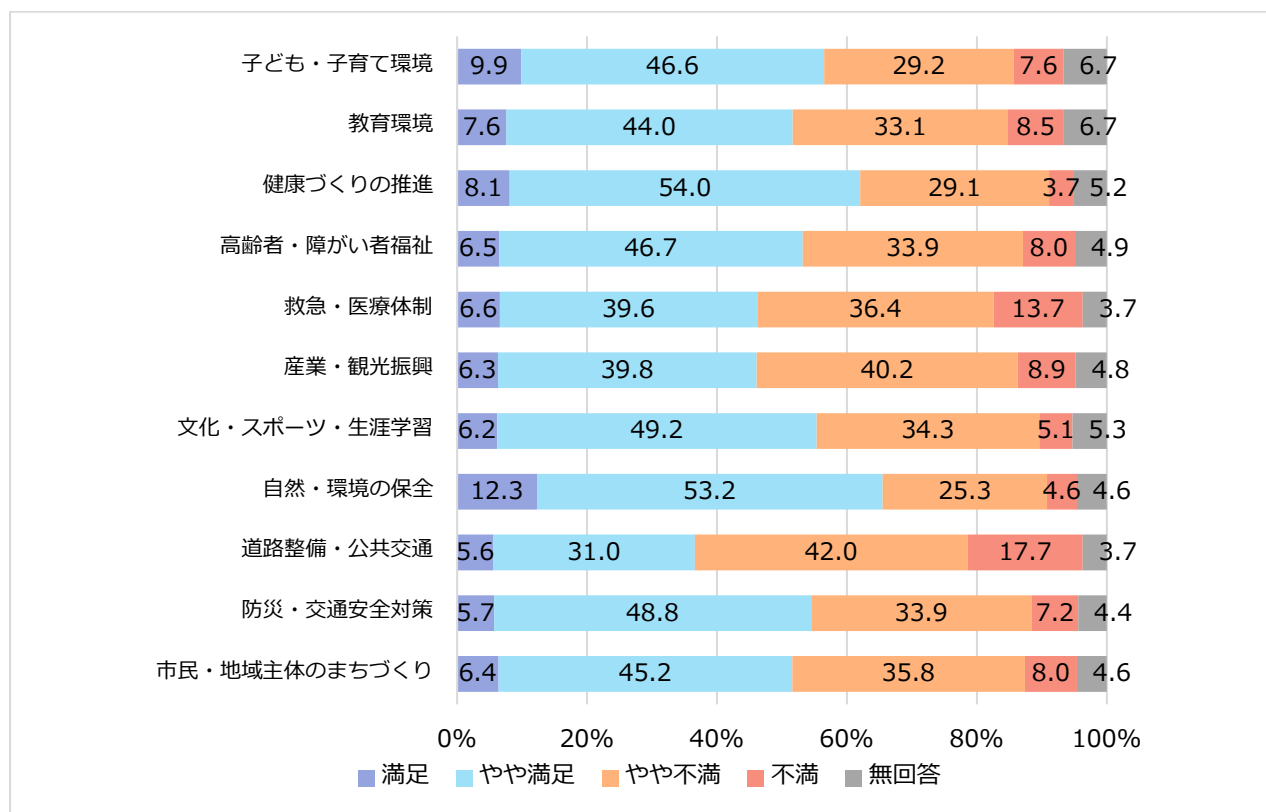
問 10 あなたは、今の恵那市についてどう思いますか？



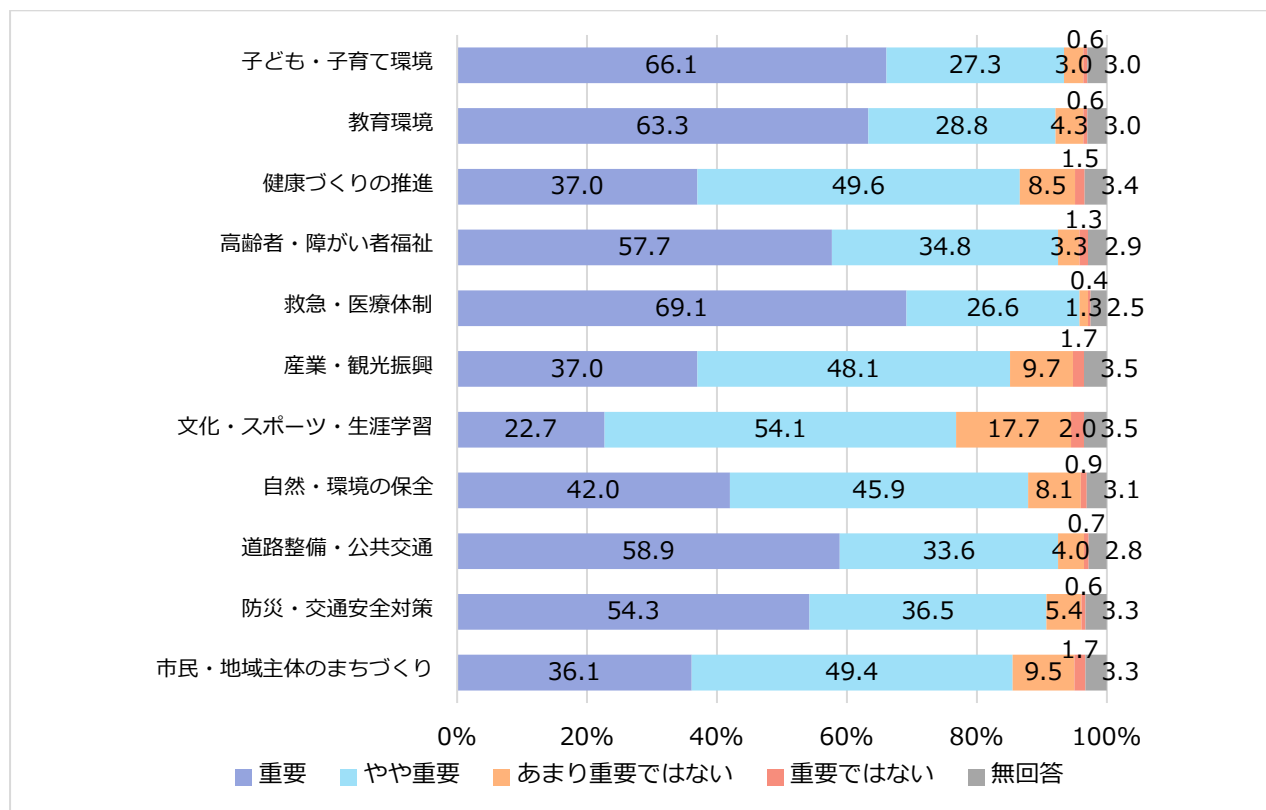
- ・「そう思う」または「ややそう思う」の割合が最も高いのは、「豊かな自然・環境を守っている」で 59.4%でした。次いで、「愛着や誇りを感じる」（43.2%）、「子ども・子育ての環境が良い」（41.3%）、「健康づくりを進めている」（41.1%）が続きました。
- ・一方、「そう思わない」または「あまりそう思わない」の割合が最も高いのは、「便利な道路・公共交通がある」で 43.0%でした。次いで、「産業・観光に魅力や活気がある」（38.5%）、「救急・医療の体制が整っている」（36.7%）、「文化・スポーツ・生涯学習が盛ん」（29.7%）が続きました。

問 11 今の恵那市のまちづくりに対する満足度と重要度をお答えください。

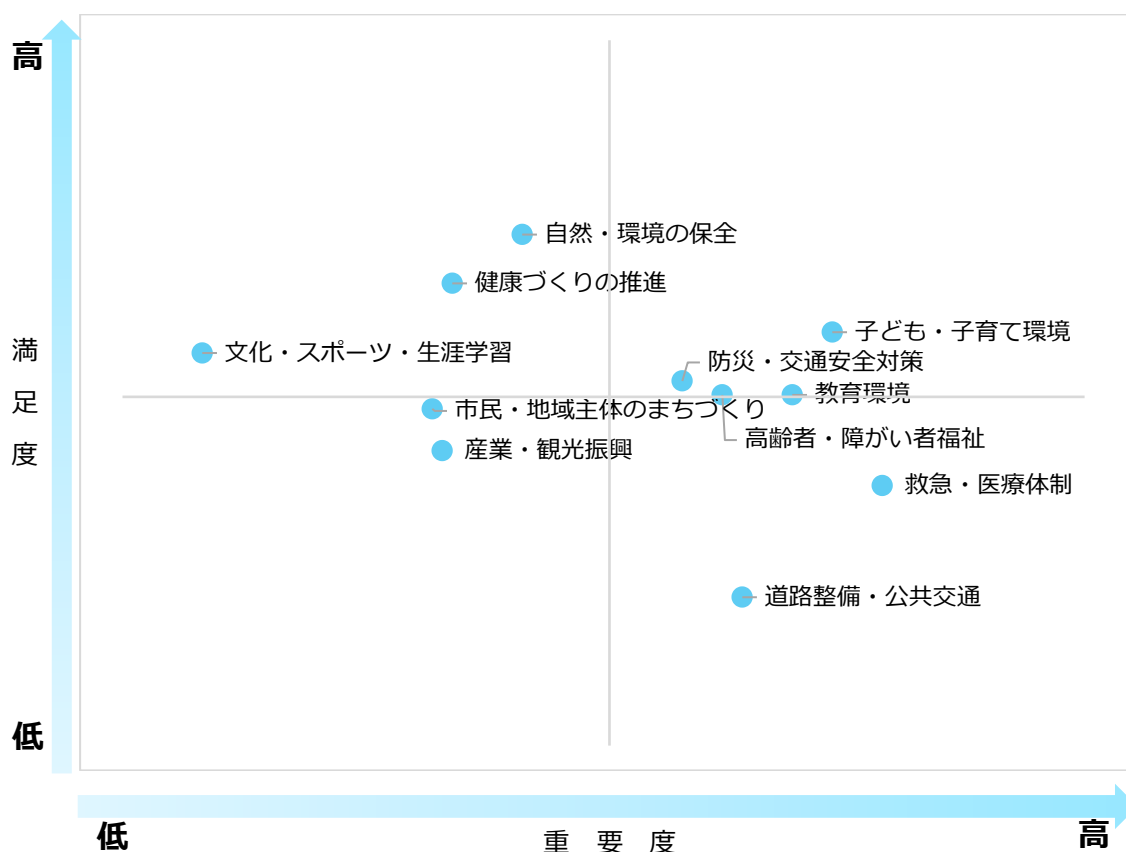
【満足度】



【重要度】

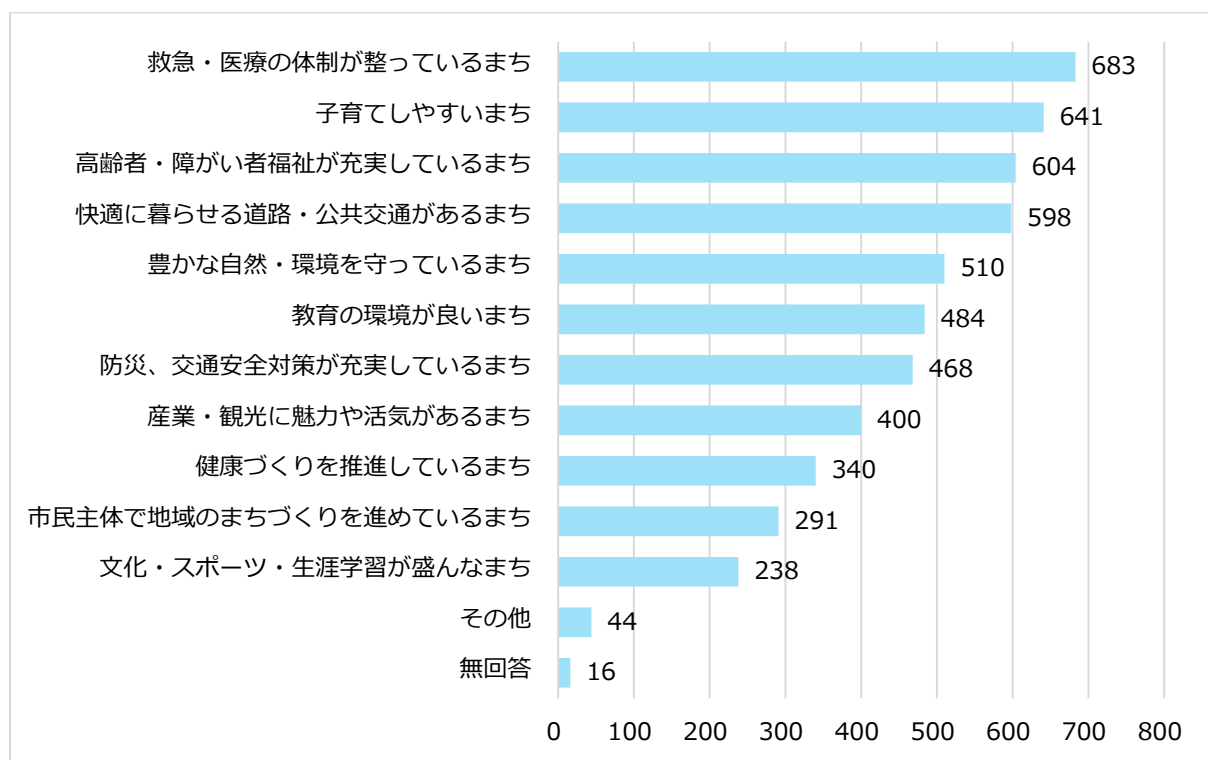


【マトリクス図】



- ・「満足」または「やや満足」の割合が最も高いのは「自然・環境の保全」で 65.5%でした。次いで、「健康づくりの推進」（62.1%）、「子ども・子育て環境」（56.6%）、「文化・スポーツ・生涯学習」（55.4%）が続きました。
- ・一方、「不満」または「やや不満」の割合が最も高いのは「道路整備・公共交通」で 59.7%でした。次いで、「救急・医療体制」（50.1%）、「産業・観光振興」（49.1%）、「市民・地域主体のまちづくり」（43.8%）が続きました。
- ・「重要」または「やや重要」の割合が最も高いのは「救急・医療体制」で 95.7%でした。次いで、「子ども・子育て環境」（93.4%）、「高齢者・障がい者福祉」、「道路整備・公共交通」（いずれも 92.5%）が続きました。
- ・重要度が高いにも関わらず満足度が低いのは、「救急・医療体制」や「道路整備・公共交通」で、優先的な改善が必要であることが分かります。

問 12 あなたは、20 年後の恵那市がどんなまちになってほしいと思いますか？



- ・回答が最も多かったのは「救急・医療体制が整っているまち」で 683 件でした。次いで、「子育てしやすいまち」(641 件)、「高齢者・障がい者福祉が充実しているまち」(604 件)、「快適に暮らせる道路・公共交通があるまち」(598 件)と続いています。

概要版では、調査結果の掲載を一部省略しています。

詳しい結果は、市公式ウェブサイトに掲載している
「まちづくりアンケート調査結果報告書（詳細版）」をご覧ください。

【詳細版掲載ページ】

[https://www.city.ena.lg.jp/soshikiichiran/
machizukurikikakubu/kikakuka/1/4/2/13045.html](https://www.city.ena.lg.jp/soshikiichiran/machizukurikikakubu/kikakuka/1/4/2/13045.html)

